第4学年 道徳学習指導案

2021年5月15日(土)

授業者 1組 川島 悠太

2組 小坂 亜希

3組 白須 隆

4組 二本木 基

1. ねらい 健康であることの喜びや幸せを感じ取り、生命を大切にしようとする心情を育てる。
2. 資料名 「わたしの見つけた小さな幸せ」(出展:『新しい 道徳』 東京書籍)
3. 展開

	学習活動と主な発問等	指導上の留意点 ☆評価
導 入	<p>(1) 幸せを感じる瞬間を想起させ、価値への導入を図る。</p> <p>○幸せだと感じることはありますか。どんなときですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほしいものが手に入ったとき。 ・うれしいことがあったとき。 ・友達と遊んでいるとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は「幸せ」なことは「特別なこと」ととらえていると考えられる。日々の生活の中で感じる「幸せ」を想起させ、本時の展開につなげる。
展 開	<p>(2) 教材を読み、話し合う。</p> <p>○大きな病院に向かうときの「わたし」はどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな病気だったらどうしよう。 ・治るのかな。 ・死んじゃうのかな。 <p>○家で横になって薬を飲む「わたし」はどんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ治るんだろう。 ・早く学校に行きたい。 ・友達と遊びたい。 <p>◎学校に行けるようになった朝、「小さな幸せ」を見付ける「わたし」はどんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっと学校に行ける。 ・治ってよかった。 ・健康でいることってすごく幸せなことなんだ。 ・病気にならないように気を付けよう。 <p>(3) 自分の生活を振り返る。</p> <p>○あなたの「小さな幸せ」を見付けましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の命や健康がおびやかされるときの不安な気持ちを考えられるようにする。 ・「わたし」の病気への不安をしっかりと感じ取れるようにする。そのうえで、学校に行きたいという気持ちを押さえ、理由も問うようにする。 ・「わたし」がどんなことに幸せを感じたのかを押さえたうえで発問する。健康や命の大切さを実感できるようにする。 ・「当たり前」だと感じ、目を向けてこなかったことから「小さな幸せ」を見付けさせることで、健康や命を大切にしようとする気持ちをもたせる。 ☆健康であることの意味を考え、喜びを感じ取っている。【ワークシート】
終 末	<p>(4) 健康であることの幸せについて教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・命や健康への思いとともに、学校でその命を輝かせてほしいことも伝え、本時をまとめる。

《授業の見どころ》

○健康に過ごしているときにはなかなか気付くことのできない、生きていることの喜びに目を向けられる授業である。生きていることの喜びを、生活の中から見つけ、自分の健康や生命の大切さについて考えられるようにする。